



# 風 ふうしん

NO. 15

風を創ろう

津幡町・市民グループ「風」

2011年7月22日



## 東日本大震災と福島原発事故

3.11 から4ヶ月が過ぎた今も、東日本大震災の復興の道のりは見えません。福島原発事故の深刻さは増すばかりです。広島、長崎で核の怖さを体験し、原発が地震国には無理なことは初めからわかっていたこと。それでも、日本はチェルノブイリの教訓を生かすことなく、国策の名のもとに、産官学が一体となりひたすら原発を推進してきました。

## 強引な進め方、原発もポートピアも

地元の人たちの反対運動を押し切って推進されてきた原発。そこには、莫大な地元対策費なる甘いお金、賛成議員たちの画策があります。一方、札幌には見向きもせず、大切な海を守るために、山口県の祝島の人たちは上関原発に反対して30年、闘い続けています。

命に関わること、規模の大きさは違いますが、原発もポートピアも、お金の力で無理やり進めていくやり方は、あまりにも似ています。

## 2人の仲間が町議に当選

4年前の町議選に続き、「風」の仲間から2人、当選することができました。町政をチェックし、住民の声に耳を傾け、住民の願いを実現すべく、中村、黒田議員は決意を新たに一步踏み出しました。



## 市民目線で、情報発信

これからも、「風ふうしん」でできるだけ情報をお知らせしていきます。町政のこと、暮らしのこと、一緒に考えていきましょう。

議会改革を推進し、議員自らが襟を正し、津幡町にとって大きな課題である財政の健全化をめざします。

具体的には、政務調査費の廃止や議員報酬の日当化、議員定数の削減、そしてあらゆる事業の見直し、さらには企業誘致を図ります。

これらから生まれた財源を「子育て支援」や「福祉の充実」に向けていきます。



黒田英世

これらの課題に真正面から全力で取り組んでいきます。

町議、2期目を迎えることができました。



情報公開を徹底し、議会改革を進め、住民に開かれた議会づくりと住民が主役の町づくりをめざします。

住み慣れた地域で、誰もが安心して元気に生きる地域づくりに励みます。

放射能はいりません。未来の子どもたちに誇れるように、再生可能なエネルギー政策を推進し、脱原発社会を創りましょう。

これからもみなさまの率直なご意見をお寄せください。

中村一子

# 津幡(舟橋)のポートピアは、いま

## まだ国の許可も

現在、津幡バイパス沿いの舟橋地内で、土地造成工事が行われています。「もう、決まっていること」と、多くの人があきらめているかもしれませんが、国の許可は、まだおりていないのです。

## 「想定外」は、起きない?

ポートピアができると、交通渋滞や事故、迷惑行為や犯罪がふえないうか。不幸な人が生まれないか。町は、「万全を期す」と約束しました。万全の対策、とはいったい何でしょうか?

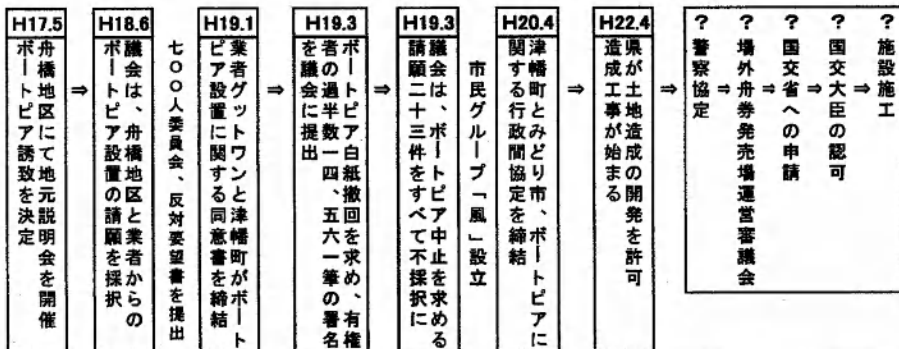
## あてにできるの?

### 環境整備費(迷惑料)

ポートピアができると、環境整備費という名目で年に2400万円(売上げの1%)が町に入ると、業者は試算しています。

そのお金を、町はあてにしていますが、同じ業者が運営する青森県南部町の「ポートピアなんぶ」の環境整備費は減少し続け、現在、当初試算の5分の1(約700万円)になりました。

## ポートピアはいらないと言い続けて 5年……まだまだ



## 町土地開発公社

# 3億8000万円の赤字が明らかに！！

## 税金で1億9000万円を穴埋め

津幡町土地開発公社は、

- ・資本金 200万円
- ・理事、監事は、民間人1名を除き、議員と町幹部が占める。
- ・公共用地の先行取得や工業用地の造成などを行う。
- ・金融機関から資金を借りて運営するが、その債務は町が保証する。



平成21年度の土地開発公社の決算で、3億8000万円の評価損(欠損金)が出た。今年の3月議会、この赤字の穴埋めに、町は一般財源、つまり税金を5年間投入することを提案した。3人の議員の反対にもかかわらず、賛成多数で赤字補てんが決定された。

1億9000万円の税金は、本来、子どもの医療費の無償化などの住民サービスにあてられるべきお金である。町は誠意をつくして、住民に理解を求める必要があるはず。

## こんな税金の使い方、

## みなさん、納得できますか?

### 崩れた、「安全神話」

東京電力の原発震災で、空気も水も食べ物も放射能で汚染され、原発と関係ない人たちの暮らしまでもが壊されてしまった。事故の終わりはまだ見えない。

### ヒバクなしには

どれだけ安全に運転されていようと、働く人の被曝なしには運転できない原発。今回の事故で、どれだけ多くの人、子どもたちがヒバクシャになってしまったんだろう。いったい誰が責任をとるの?

## 知ってほしい。原発のこころ

### 核のゴミ どうするの?

原発から出る使用済み核燃料は、持って行き場のない、処分方法も決まっていない、放射能のゴミ。その中のプルトニウムは、毒の力が半分に減るのに24,000年かかる。そんなに危険なものを、この先ずっと人間が管理できるのだろうか。

### 安くない 原発

危険と引き換えに、原発をつくる町へ国から入る巨額のお金は、税金から。核のゴミの後始末も計算に入れていない原発は、実はコストの高い発電方法。

### 「必要神話」って?

原発ないと電力不足、の「必要神話」を今も大多数の人が信じている。安全です、のCMを半世紀近くの間聞かされてきたけど、今度は節電キャンペーンで、電気が足りないって脅かされている。

### 電力、たりてるよ

今は2基とも止まっている志賀原発。これまでもよく止まったけど、停電にはならなかった。北陸電力管内では、原発なしでも電気は足りています。

3.11後、脱原発を決めたドイツ、イタリア。原発に依存しない方針を打ち出した福島県、大阪府、金沢市、内灘町など。県は国次第? 津幡町は県次第?

今、私たち一人ひとりが、生き方を問われている。経済といのち、どちらが大事なのかと。それを判断するのに、必要なもの。真実を見る目、考える頭、そして、語り合う仲間たち。

未来をえらぶのは誰??



中村一子、黒田英世議員の

## 6月議会報告会

日時：8月5日（金）  
19：30～21：00

場所：緑が丘1丁目  
集会所「近懇館」

みなさま、  
お誘いあわせおいでください。

### はじめて傍聴許可！ 一歩前進？

試行ということで、6月議会より、各常任委員会の傍聴が初めて許可された。（ただし1名に限ってだが）しかし、私たちが提出した「委員会傍聴を求める請願」は、賛成4、反対13で、不採択になった。

一方では許可し、もう一方では許可しない…？



住民が傍聴したことで何か不都合があったのか？人数を増やせないのか？などきちんと検討し、一歩進んで二歩下がらないようにしてほしい。

かほく市や内灘町では、申し込めば誰でも、町外の人でも、傍聴できる。津幡町もできるだけ早く誰でも傍聴でき、住民に開かれた議会になるよう前進してほしい。

### —町議選挙費用の公開—

4年前に続き、今回も2人の候補者が一つの選挙事務所で、公明正大、お金をかけない選挙活動をめざしました。みなさまのご理解とご支援のおかげで、選挙要員はすべてボランティア、食事も差入れの、手作り選挙でした。

印刷費	997,000円	看板・マイク設備	304,000円
電話代	13,000円	事務所諸雑費	199,000円
光熱費	11,000円		

合計1人約76万円

### 編集後記

東日本大震災に遭遇された方々に、心よりお見舞い申し上げます。まだまだ、心の痛む報道が続いています。なかでも、原発の怖さには自然災害とは違った恐怖と怒りを覚えました。しかし、大きな圧力に屈することなく、自分の信念を貫き通した素晴らしい方々がいらっしゃると知ったことが、救いと勇気になりました。これまで見て見ぬふりをしていなかったか、他人任せにしてこなかったか、損得勘定で動いてこなかったか。ふと、自分に立ち返ります。

一年ぶりで「風つうしん」の発行です。「待っているよ」と声をかけてくださった方々、ありがとうございます。委員会傍聴と今も続行中の、町議の政務調査費返還訴訟については、「風」のホームページに詳しく載せてあります。ぜひご覧ください。

風ホームページのご案内

津幡町市民グループ風

検索